



報道機関 各位

2026年1月15日
学校法人 国際医療福祉大学

「食・栄養と健康」社会連携講座を開設

～日本の食文化と健康課題を踏まえ、科学的根拠に基づく健康的な食を社会へ～

国際医療福祉大学大学院(大学院長:矢富裕)は、味の素株式会社(代表執行役社長:中村茂雄)と株式会社 明治(代表取締役社長:八尾文二郎)との連携のもと、日本の食文化と健康課題を踏まえ、科学的根拠に基づいた健康的な「食と栄養」の在り方を解明し、その成果を社会実装へとつなげることを目的として「食・栄養と健康」社会連携講座を開設しました。

■開設の背景と目的

近年、世界的に「健康的な食とは何か」を定義し、可視化する動きが急速に進んでいます。栄養プロファイリングシステム(NPS)や各国の食品評価制度は、政策、消費者行動、企業評価、さらには投資判断にも影響を及ぼす重要な社会インフラとなりつつあります。しかし、その多くは欧米の食習慣や疾病構造を前提として構築されており、日本の食文化・健康課題を十分に反映しているとは言えません。

日本は世界有数の健康長寿国である一方で、日本人の食事や料理、食文化の健康影響を体系的に評価する科学的エビデンスは必ずしも十分に整理されておらず、国際的な栄養評価や政策議論において、日本発の知見が十分に活用されてこなかったという課題があります。とりわけ、食塩過剰やカルシウム不足といった日本特有の栄養課題、料理・食事単位での評価、食の多様性やバランスといった要素は、既存の評価枠組みでは捉えきれいていません。

このような状況におけるアカデミアの役割として、ひとつには、エビデンスを体系的に整理することにより、政策形成や社会実装、さらには企業の健康・栄養への貢献を科学的に評価することが挙げられます。

本講座は、こうした課題認識のもと、日本人の健康長寿に寄与してきた食と栄養の在り方を科学的に体系的な評価を行い、既存のエビデンスで不足する部分は既存のコホート研究等を活用して補完することで、「日本人にとっての健康的な食」を明らかにすることを目的としています。あわせて、その成果を国際的に通用する形で整理・発信し、政策や社会実装へとつなげることを目指します。



■主な活動内容

1. 研究活動

日本の食文化を尊重しつつ、食塩過剰やカルシウム不足といった日本の食習慣に即した栄養課題に対するエビデンスを構築します。エビデンスに基づいて、日本の健康課題の解決を目指した「健康的な食」について考察します。研究成果を効果的・効率的に社会へ浸透させるための実装科学的な手法についても開発・試行します。

2. 教育・人材育成

公衆衛生専門職大学院での「栄養疫学・公衆栄養学」の系統講義(15コマ・2単位)や研究指導、教員・大学院生・研究者などの受け入れにより若手研究者を育成します。さらに、社会人公開講座「乃木坂スクール」における産官学民や日本栄養士会との対話・共創を通じて、日本型栄養戦略の未来を担う人材を育成します。令和8年度の専門職修士課程への入試は3月にも実施されます。(出願期間【消印有効】:2026年1月13日(火)~2月10日(火)、試験日:2026年3月1日(日))

3. 社会との接点

味の素株式会社、株式会社 明治、日本栄養士会などと協力し、アカデミア、民間企業、NGO、国際機関や行政など多様なステークホルダーとのネットワークを通じて、「食・栄養と健康」をともに考えるプラットフォームを提供します。本講座はこのネットワークの拠点として、日本の栄養課題への理解を深め、社会へ向けた提言や発信を通じて変革を促すアドボカシーを実践します。この度、その講座の取り組みを発信する特設サイトを開設しました。今後当講座の活動報告のみならず、国内外の動向などを積極的に発信していく予定です。(<https://shoku-kenko-iuhw.jp/>)

■講座概要

名称 : 「食・栄養と健康」社会連携講座

設置期間 : 2025年4月1日~2030年3月31日

設置場所 : 国際医療福祉大学 赤坂キャンパス W棟9階

連携機関 : 味の素株式会社、株式会社 明治

教員 : 山本尚子(副学長)、津金昌一郎(教授)、野村周平(特任教授)、山岸万里菜(特任助教)ほか

Web サイト: <https://shoku-kenko-iuhw.jp/>

■お問い合わせ先

国際医療福祉大学 広報部

東京都港区赤坂 4-1-26

TEL: 03-5574-3828

E-mail: press@ihwg.jp



International University of Health and Welfare

国際医療福祉大学



医療福祉の多彩なエキスパートを育てる。

国際医療福祉大学

INTERNATIONAL UNIVERSITY OF HEALTH AND WELFARE

